

令和6年度 第63回東京都中学校総合体育大会 兼 第77回東京都中学校野球選手権大会 要項

1. 目的

この大会は、中学校野球の一環として中学生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学生徒を育成するとともに、中学生徒の相互の親睦をはかるものである。

東京都中体連スローガン 「スポーツ界の明るい未来を開こう」
2. 主催 東京都教育委員会 東京都中学校体育連盟
3. 主管 東京都中学校体育連盟野球部
4. 後援 杉並区教育委員会、(公財)杉並区スポーツ振興財団、葛飾区教育委員会、あきる野市教育委員会、(公財)東京都軟式野球連盟、ナガセケンコー株式会社、読売巨人軍、(株)共同写真企画(株)大塚製菓
5. 期日会場 令和6年7月21日(日) 開始式 1回戦 駒沢硬式野球場(第1試合の2チームで実施)
奥戸球場、上井草野球場、大沢グランド、調布西町野球場、あきる野市民球場
7月22日(月) 1回戦(2回戦) 奥戸球場、上井草野球場、調布西町野球場、
大沢グランド、あきる野市民球場
7月23日(火) 2回戦 奥戸球場、上井草野球場、大沢グランド、
調布西町野球場、上柚木球場
7月24日(水) 3回戦 奥戸球場、和田堀野球場、大沢グランド、調布西町野球場
あきる野市民球場
7月26日(金) 準々決勝戦 駒沢硬式野球場、奥戸球場
7月27日(土) 準決勝戦・決勝戦 駒沢硬式野球場 略式閉会式
*予備日: 7月25日(木) 奥戸球場、大沢グランド、調布西町野球場
7月28日(日) 上柚木球場・29日(月) あきる野市民球場
6. 参加資格 (1) 東京都中学校体育連盟に加盟し、各支部・ブロック主催による地区大会・ブロック大会において都大会出場資格を得た中学校とする。
(2) 第76回東京都中学校野球秋季大会ベスト4で本部推薦により出場権を得た4校。
(3) 東京都新人軟式野球大会に優勝した1校。
(4) 選手は東京都中学校体育連盟野球部に登録した者に限る。硬式野球リーグに所属・登録している者は出場できない。
(5) 部長(引率責任者)は出場校の教員(校長、副校長、教諭、部活指導員)に限る。
(6) 監督は教員・部活指導員または外部指導者(コーチ)に限る。監督が教員の場合は、外部指導者1名がコーチとしてベンチ入りすることができる。教員はコーチとして登録できない。
(7) 外部指導者(コーチ)は、校長が認め、東京都中学校体育連盟に申請書を出し、承認された20歳以上の者とする。教員は外部指導者として認めない。
(8) 参加資格の特例
①学校教育法134条の各種学校(1条項以外)の各種学校の生徒については、規定に従い予選を経て、都大会への参加資格を得た場合は、出場を認める。
(9) 合同チームは同ブロック内で2校以上の合同を認め、合同チーム編成承認願いを部長に提出したチームとする。(詳細は東京都及び関東中学校体育大会実施要項による。)
◎ 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属する中学生 ① 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属しており、本実施要項・各競技専門部各大会競技実施要項により、東京都中学校体育大会参加資格を得た者。② 参加を希望する地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)は、以下の条件を具備する。ア 東京都中学校体育大会の参加を認める条件 a 東京都中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重する。 b 生徒の学齢・修業年限が中学校と一致している単独の団体で構成されている。 c 東京都中学校体育連盟各支部・各ブロック予選会から出場が認められ(都大会から参加の競技を除く。)、都大会への出場条件が満たされている。 d 活動が日常的に代表者も

しくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われている。 e 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「II 新たな地域クラブ活動」を遵守している。 f 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは東京都競技団体に登録されている。かつ同じ内容で東京都中学校体育連盟に加盟、当該競技専門部に登録している。 g 予選会を含むすべての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力する。 h 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)で参加する生徒は、在籍中学校及び各種学校での参加は認めない。その逆も同様である。 i 東京都中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件 a 東京都中学校体育大会実施要項・競技専門部要項及び規則を遵守するとともに大会の円滑な運営に協力する。 b 大会参加にあたっては、代表者・指導者が引率するとともに、万一の事故発生にあたっては代表者が責任を負うものとする。また、事故等の発生に備え、傷害保険等に加入するなど、万全の事故対策をとる。 c 大会参加に要する費用については、当該地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)が応分の負担をする。 d 団体競技等への参加は、1団体1チームのみとする。

7. 引率 ・部長(引率責任者)は出場校の校長、副校長、教員、部活指導員とする。
8. 参加者数 (1) 1チームは部長1名、監督1名、コーチ1名(ただし3名の教職員のベンチ入りを認めるがコーチとして登録することはできない)、選手20名以内の計23名以内とする。また、スコアラーとして1名ベンチ入りを認める。
(2) 監督は出場校の校長、副校長、教諭、部活指導員及び校長が認めた外部指導者とし、背番号30番をつける。【関東大会出場校はコーチ29番、28番(外部指導者)をつける。】
(3) ベンチ入りを認められた外部指導者はチームの登録名簿に監督として登録し、監督としての任務に当たる。(運動部指導者証を携帯する)
(4) 校長または副校長・教頭は、これ以外にベンチに入ることができる。
9. 参加費 1校 7,000円
各校登録人数分以上のプログラムを購入する。1部300円
10. 競技規則 2024年公認野球規則ならびに全日本軟式連盟競技者必携及び大会特別規定による。大会特別規定は別に定める。
11. 競技方法 (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
(2) 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差とする。3回以降1時間50分を過ぎて、10点差がある場合はコールドゲームとする。
(3) 降雨、日没等のため試合続行が不可能と判断した場合、試合成立は5回とし、得点差があれば、コールドゲームとする。(全試合に適用する)
(4) 全試合について延長戦は行わず、8回からタイブレーク方式を適用する。但し、突発的事態が起きたときや決勝戦には適用しない。
(5) 全試合にサスペンデッドゲームを適用する。
12. 使用用具等 (1) 大会使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認球(M号)とする。
(2) その他の使用器具は、(財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
(3) スパイクシューズは白一色または黒一色とする。(混在は認める)
(4) 背番号は1~20とし、原則ポジション順とする。
(5) 打者、走者、およびコーチャーは、ヘルメットを着用する。
(6) 捕手はレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファールカップを装備する。
13. 表彰 (1) 優勝校には、賞状・優勝旗(持ち回り)・優勝カップ(持ち回り・総体用)優勝盾・優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝校には、賞状・準優勝盾・準優勝メダルを授与する。
(3) 第3位校には、賞状・第3位盾・第3位メダルを授与する。
(4) 優勝、準優勝校には本部推薦により、第49回関東中学校軟式野球大会への出場権を与える。

14. 参加申込 代表校は、大会本部が作成した所定の登録用紙に必要事項を記入し代表者会議に持参する。
東京都中体連野球部公式ホームページを参照のこと。 <http://ctr-tokyo-baseball.com/>
15. 会議 (1) 代表者会議は7月11日(木)午後3時30分より行う。(受付は午後3時)
・場所：中野区東中野3-3-4 明治大学附属中野中学校
・電話：03-3362-8704
組み合わせ抽選、ルール打ち合わせ、競技確認、大会規定の確認を主な内容とする。
(2) 運営に関する役員会、常任専門委員会、専門委員会、審判割り当てを代表者会議の前後に開催する。
16. その他 (1) 大会中の不慮の負傷・疾病についての応急処置は、各チームで対応できるよう救急薬品の用意をしておくこと。
(2) 大会期間中における参加者の傷害などは、学校教育活動であるので「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の適用となる。クラブチームにおいては、各チームで任意の保険に加入すること。
(3) ①守備側チームが25分以上守りにについている場合は3分間の給水タイムを設ける。(試合時間には含まない)
②8. 参加者数以外に給水係2名・救護係1名の保護者のベンチ入りを認める。
(記録等のビデオ撮影をする場合は自軍ベンチ側から撮影すること。バックネット裏と相手側のベンチからの撮影は禁止とする。)
③守備につく際、タブレット等の塩分補給を認める。(梅干し等の種のある物は不可)
17. 連絡先 (1) 大会前 東京都中学校体育連盟 野球部長 小沼 和徳
青梅市立新町中学校 電話 0428-31-0411
(2) 大会期間中 仮設電話：代表者会議で連絡する。